



平成23年大学入試実績 — 東大理IIIへ合格

附属高校の平成23年大学入試実績で特筆されることは、念願になっていた東京大学理科Ⅲ類(医学部)への合格者が2名(現女・1浪男)出たことです。沖縄県では、昭和47年の祖国復帰まで本土へ学生を派遣する「国費留学制度」があり、その試験に合格して東京大学理科Ⅲ類へ入学したり、県外の高校へ進学してから合格した例はあります。しかし、本土復帰後沖縄県内の高校から直接受験して合格したのは、今回の2名が過卒生としては約40年ぶり、現役生としては初めての合格ということになります。

<平成23年度大学合格状況>

1. 合格者数

		()は現役
国立大学	140	(80)
県外国立大学	79	(43)
県内国立大学	59	(35)
政府系大学校	2	(2)
私立大学	226	(113)
短大・専門学校	3	(2)
計	369	(195)

2. 医学科への合格者数

		()は現役
国立		
東京大学	2	(1)
東北大学	1	(1)
名古屋大学	1	(1)
大阪大学	1	(0)
九州大学	3	(1)
その他県外	7	(2)
琉球大学	14	(4)
計	29	(10)
私立		
慶應義塾大学	1	(1)
聖マリアンナ医科大学	1	(0)
その他私大	8	(3)
計	10	(4)
医学科 総計	39	(14)

3. 主な大学への合格者数

		()は現役
国立		
東京大学	2	(1)
京都大学	3	(1)
北海道大学	2	(1)
東北大学	2	(2)
名古屋大学	1	(1)
大阪大学	1	(0)
九州大学	10	(5)
一橋大学	3	(1)
東京工業大学	1	(1)
東京農工大学	1	(1)
お茶の水女子大学	2	(2)
東京学芸大学	4	(3)
横浜国立大学	6	(4)
千葉大学	5	(5)
神戸大学	3	(1)
長崎大学	3	(1)
琉球大学	59	(35)
私立		
昭和薬科大学	2	(2)
早稲田大学	35	(16)
明治大学	32	(14)
中央大学	27	(9)
慶應義塾大学	13	(9)
法政大学	10	(2)
立命館大学	6	(6)
同志社大学	5	(4)
東京理科大学	3	(2)
国際基督教大学	2	(2)

学校への支援 — 高校同窓会、後援会の動き

学校は、PTA・高校同窓会・後援会の3組織からいろいろな支援を受けています。このうち、PTA・高校同窓会では役員が改選され、今年度から新会長が就任しました。眞榮田明美PTA新会長は、開校以来初めての女性会長ということになり、PTA活動のいっそうの活性化が期待されています。高校同窓会では、高校11期生の新里守人新会長が就任し、生徒会の活動費の援助など従来の取り組みを継続しながら、新役員とともに高校創立40周年記念事業に向けた活動を開始することになっています。また、PTA・高校同窓会・卒業生保護者の三者で結成している後援会(比嘉幹郎



特別活動で沖縄代表で県外へ派遣される生徒たち(後援会の援助金交付式)

会長)では、6月11日に平成23年度の総会を開催し、生徒への奨学金事業や特別活動で県外へ派遣される生徒への支援助成などの事業計画や予算が承認されました。